

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成24年11月14日

【四半期会計期間】 第11期第3四半期(自平成24年7月1日至平成24年9月30日)

【会社名】 株式会社アエリア

【英訳名】 Aeria Inc.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 小林 祐介

【本店の所在の場所】 東京都港区赤坂五丁目2番20号

【電話番号】 03-3587-9574

【事務連絡者氏名】 取締役 管理本部長 清水 明

【最寄りの連絡場所】 東京都港区赤坂五丁目2番20号

【電話番号】 03-3587-9574

【事務連絡者氏名】 取締役 管理本部長 清水 明

【縦覧に供する場所】 株式会社大阪証券取引所  
(大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第10期 第3四半期連結 累計期間	第11期 第3四半期連結 累計期間	第10期
会計期間	自 平成23年1月1日 至 平成23年9月30日	自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日	自 平成23年1月1日 至 平成23年12月31日
売上高 (千円)	5,715,886	4,349,612	7,404,250
経常利益又は経常損失 (千円)	18,108	645,504	112,243
四半期(当期)純損失 (千円)	302,923	795,854	1,063,831
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	268,196	789,668	1,018,201
純資産額 (千円)	5,903,758	4,038,127	5,664,920
総資産額 (千円)	7,574,957	5,747,590	7,007,933
1株当たり四半期(当期)純損失(円)	5,304.59	15,452.27	18,629.07
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	73.9	57.2	69.1

回次	第10期 第3四半期 連結会計期間	第11期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日	自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日
1株当たり四半期純損失金額(円)	3,904.69	9,068.03

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 第10期第3四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。
4. 第10期第3四半期連結累計期間における潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。
5. 第11期第3四半期連結累計期間における潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有する潜在株式が存在せず、また、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間における、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業内容の重要な変更はありません。

なお、第2四半期連結会計期間より報告セグメントの区分を変更しております。詳細は、「第4 経理の状況 1 四半期連結財務諸表 注記事項(セグメント情報等)」の「3 報告セグメントの変更等に関する事項」をご参照ください。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間における、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析・検討内容は、当社グループの連結財務諸表に基づいて分析した内容です。

#### (1) 経営成績の分析

当第3四半期連結累計期間（平成24年1月1日～平成24年9月30日）におけるわが国経済は、世界景気の減速等を背景とした企業活動や個人消費等の回復に足踏み感がみられ、欧州における債務危機や金融資本市場の変動が我が国の景気を下押しするリスクとなっております。

当社グループが属するオンラインゲーム関連市場は、従来のPCオンラインゲームに加え、スマートフォンやタブレット端末の普及による利用者数の拡大を背景に、引き続き順調に成長を続けております。これに伴って、Android/iOSをはじめとするプラットフォームの多様化が進み、各社の提供コンテンツやアプリケーションサービスはますます複雑化・高度化する傾向にあるなど、企業間におけるユーザー獲得競争は今後も激化するものと予測されます。

このような環境のなか、当社グループは国内及び海外におけるオンラインゲームの配信・運営事業を強化し、幅広いユーザーへ向けたクオリティの高いサービスを提供してまいりました。

平成24年9月の累計登録会員数は3,700万人を突破し、順調に事業規模を拡大しております。

また、スマートフォンを含むモバイルコンテンツの開発分野にも注力し、各ライセンスと協力を深めながら、多様化する顧客ニーズに合ったサービスの提供に努めてまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高4,349,612千円（前年同期比23.9%減少）、営業損失584,745千円（前年同期は営業利益120,191千円）、経常損失645,504千円（前年同期は経常利益18,108千円）、四半期純損失795,854千円（前年同期は四半期純損失302,923千円）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

なお、第2四半期連結会計期間より報告セグメントの区分を変更しております。変更の内容については、「第4 経理の状況 1 四半期連結財務諸表 注記事項（セグメント情報等）」の「3 報告セグメントの変更等に関する事項」をご参照ください。このため、前年同期比較においては、前年度実績を変更後の区分に組み替えております。

#### （オンラインゲーム事業）

オンラインゲーム事業につきましては、当社及び連結子会社でありますAeria Games & Entertainment, Inc.を中心に国内・海外でオンラインゲームの配信を行っており、平成24年9月には累計登録会員数が3,700万人を突破するなど、順調な成長を続けております。

但し、広告宣伝費等の積極的な先行投資により費用が増加し営業損失となっております。

以上の結果、売上高は3,642,650千円（前年同期比2.5%減少）、営業損失は614,880千円（前年同期は営業損失40,351千円）となりました。

#### （ITサービス事業）

ITサービス事業につきましては、インターネットの普及に伴いデータサービス事業を行う株式会社エアネット並びにネットワークエンジニアの派遣を行う株式会社スリーエスは共に安定した収益を獲得しております。

以上の結果、売上高は812,483千円（前年同期比11.1%減少）、営業利益は57,482千円（前年同期比

5.3%増加)となりました。

(その他事業)

その他事業につきましては、売上高7,307千円(前年同期比83.4%減少)、営業損失24,062千円(前年同期は営業利益18,231千円)となりました。なお、当第3四半期連結累計期間において、株式会社アエリアエステートが所有する固定資産を譲渡したことにより83,695千円の特別利益を計上しております。

## (2) 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、5,747,590千円で、前連結会計年度末に比べ1,260,342千円減少いたしました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ522,004千円減少し、3,556,775千円となりました。固定資産は、前連結会計年度末に比べ738,337千円減少し、2,190,815千円となりました。流動負債は前連結会計年度末に比べ1,065千円増加し、1,208,804千円となりました。固定負債は、前連結会計年度末に比べ365,385千円増加し、500,659千円となりました。

純資産につきましては、自己株式の買付等に伴い、1,626,793千円減少し、4,038,127千円となりました。

## (3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

## (4) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間の研究開発費の総額は20,503千円であります。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	113,400
計	113,400

###### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成24年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成24年11月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	67,992	67,992	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	(注1、2)
計	67,992	67,992		

- (注) 1. 単元株制度を採用していないため、単元株式数はありません。  
2. 「提出日現在発行数」欄には、平成24年11月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は、含まれておりません。

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式総数 残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増減 額(千円)	資本準備金残高 (千円)
平成24年7月1日～ 平成24年9月30日	-	67,992	-	236,772	-	446,985

##### (6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】  
【発行済株式】

平成24年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 18,017	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 49,975	49,975	-
単元未満株式	-	-	-
発行済株式総数	普通株式 67,992	-	-
総株主の議決権	-	49,975	-

【自己株式等】

平成24年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数(株)	他人名義 所有株式数(株)	所有株式数の合計 (株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社アエリア	東京都港区赤坂 五丁目2-20	18,017	-	18,017	26.50
計	-	18,017	-	18,017	26.50

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(平成24年7月1日から平成24年9月30日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成24年1月1日から平成24年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,474,608	2,446,620
受取手形及び売掛金	484,729	385,215
商品	792	1,251
仕掛品	143	-
短期貸付金	614,000	614,000
未収還付法人税等	385,561	15,817
繰延税金資産	4,071	1,141
その他	121,106	94,787
貸倒引当金	6,233	2,057
流動資産合計	4,078,780	3,556,775
固定資産		
有形固定資産	992,208	236,556
無形固定資産	665,688	838,413
投資その他の資産		
投資有価証券	659,235	633,873
関係会社株式	521,635	391,938
長期貸付金	773,839	781,158
繰延税金資産	7,132	7,158
その他	117,600	114,645
貸倒引当金	808,187	812,928
投資その他の資産合計	1,271,256	1,115,845
固定資産合計	2,929,153	2,190,815
資産合計	7,007,933	5,747,590
負債の部		
流動負債		
買掛金	203,127	150,792
短期借入金	144,647	-
1年内返済予定の長期借入金	6,492	6,492
未払費用	333,812	483,157
未払法人税等	72,255	25,321
賞与引当金	1,500	2,700
その他	445,904	540,340
流動負債合計	1,207,738	1,208,804
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	-	388,050
長期借入金	42,819	37,950
繰延税金負債	23,543	28,032
退職給付引当金	12,115	10,600
負ののれん	265	-
資産除去債務	8,831	8,947
その他	47,698	27,078
固定負債合計	135,273	500,659
負債合計	1,343,012	1,709,463



	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	236,772	236,772
資本剰余金	6,598,336	6,472,505
利益剰余金	947,386	1,743,240
自己株式	1,035,442	1,673,384
株主資本合計	4,852,279	3,292,652
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	48,291	48,422
為替換算調整勘定	55,849	53,900
その他の包括利益累計額合計	7,558	5,477
新株予約権	75,100	1,748
少数株主持分	745,099	749,203
純資産合計	5,664,920	4,038,127
負債純資産合計	7,007,933	5,747,590

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)
売上高	5,715,886	4,349,612
売上原価	3,481,464	3,193,685
売上総利益	2,234,421	1,155,927
販売費及び一般管理費	2,114,230	1,740,673
営業利益又は営業損失( )	120,191	584,745
営業外収益		
受取利息	15,834	7,629
受取配当金	1,439	3,489
負ののれん償却額	27,060	265
受取補償金	9,893	17,587
その他	28,397	8,086
営業外収益合計	82,625	37,058
営業外費用		
支払利息	6,409	28,441
為替差損	81,679	13,459
持分法による投資損失	93,997	45,813
その他	2,623	10,101
営業外費用合計	184,708	97,817
経常利益又は経常損失( )	18,108	645,504
特別利益		
固定資産売却益	-	83,695
投資有価証券売却益	-	33,674
関係会社株式売却益	-	36,737
新株予約権戻入益	-	75,100
持分変動利益	5,226	37,288
特別利益合計	5,226	266,496
特別損失		
固定資産除却損	12,882	955
減損損失	223,326	365,871
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	6,207	-
その他	744	14,233
特別損失合計	243,162	381,059
税金等調整前四半期純損失( )	219,827	760,068
法人税、住民税及び事業税	34,615	28,776
法人税等調整額	3,838	2,904
法人税等合計	30,777	31,681
少数株主損益調整前四半期純損失( )	250,604	791,749
少数株主利益	52,319	4,104
四半期純損失( )	302,923	795,854

【四半期連結包括利益計算書】  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失( )	250,604	791,749
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	15,667	8,107
為替換算調整勘定	3,127	1,949
持分法適用会社に対する持分相当額	5,051	7,975
その他の包括利益合計	17,591	2,081
四半期包括利益	268,196	789,668
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	319,141	793,772
少数株主に係る四半期包括利益	50,945	4,104

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日)	
(1) 連結の範囲の重要な変更	前連結会計年度まで非連結子会社であったijji Games, LLC.は、第1四半期連結会計期間において重要性が増したため、連結の範囲に含めております。
(2) 持分法適用の範囲の重要な変更	該当事項はありません。

【追加情報】

当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日)	
(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)	
第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。	

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日)
減価償却費	272,250千円	267,250千円
のれんの償却額	25,112千円	12,927千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 平成23年1月1日 至 平成23年9月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年3月30日 株主総会	普通株式	125,633	2,200	平成22年12月31日	平成23年3月31日	その他 資本剰余金

2 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年3月29日 株主総会	普通株式	125,831	2,200	平成23年12月31日	平成24年3月30日	その他 資本剰余金

2 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3 株主資本の著しい変動に関する事項

当社は、当第3四半期連結累計期間において、平成23年12月2日開催の取締役会における自己株式の取得決議に基づき、また平成24年6月15日開催の取締役会における決議に基づき自己株式の取得を行いました。

この自己株式の取得により、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が1,673,384千円となりました。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成23年1月1日至平成23年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			合計 (千円)	調整額 (千円) (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (千円) (注2)
	オンライン ゲーム (千円)	ITサービス (千円)	その他(千円)			
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	3,719,631	836,848	44,046	4,600,526	1,115,359	5,715,886
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	16,483	77,829	-	94,313	94,313	-
計	3,736,115	914,678	44,046	4,694,839	1,021,046	5,715,886
セグメント利益又は損失( )	40,351	54,576	18,231	32,456	87,734	120,191

- (注) 1. セグメント利益の「調整額」は、各報告セグメントに配賦していない全社費用の金額及び前連結会計年度にて計上していたゲーム開発事業のセグメント利益117,642千円が含まれております。  
全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「オンラインゲーム事業」セグメントにおいて、想定していた収益が見込めないため、一部のソフトウェアについて、その帳簿価額を全額減損損失として特別損失に計上しております。

なお、当第3四半期連結累計期間における当該減損損失の計上額は、84,174千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成24年1月1日至平成24年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント(注3)			合計 (千円)	調整額 (千円) (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (千円) (注2)
	オンライン ゲーム (千円)	ITサービス (千円)	その他(千円)			
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	3,612,915	729,390	7,307	4,349,612	-	4,349,612
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	29,734	83,093	-	112,828	112,828	-
計	3,642,650	812,483	7,307	4,462,441	112,828	4,349,612
セグメント利益又は損失( )	614,880	57,482	24,062	581,461	3,283	584,745

- (注) 1. セグメント利益の「調整額」は、各報告セグメントに配賦していない全社費用の金額であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。
3. 前連結会計年度にてゲーム開発事業を行っていた株式会社アクワイアの全保有株式を譲渡し、またオプティモグラフィコ株式会社が清算したことに伴い、連結の範囲から除外しております。これによりゲーム開発事業セグメントを廃止しております。

2 報告セグメントごとの資産に関する情報

前連結会計年度の末日に比して、当第3四半期連結会計期間の報告セグメントごとの資産の金額が

著しく変動しております。その概要は、以下のとおりです。

第1四半期連結会計期間において、連結子会社であるアエリアエステートの保有する不動産を売却したことに伴い、前連結会計年度末に比べ「その他」セグメントの資産が807,451千円減少しております。

### 3 報告セグメントの変更等に関する事項

第2四半期連結会計期間より第1四半期連結会計期間にアエリアエステートの事業運営上重要な資産を売却したことによりその重要性が低くなった為、事業セグメントの区分方法を見直し、報告セグメントを従来の「不動産賃貸事業」から「その他事業」に変更しております。

### 4 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

#### (固定資産に係る重要な減損損失)

「オンラインゲーム事業」セグメントにおいて、想定していた収益が見込めないため、一部のソフトウェアについて、その帳簿価額を全額減損損失として特別損失に計上しております。

なお、当第3四半期連結累計期間における当該減損損失の計上額は、365,871千円であります。

#### (のれんの金額の重要な変動)

当第3四半期連結累計期間において、Aeria Games & Entertainment, Inc.の普通株式を取得したことによりのれんを認識しております。なお当該事象によるのれんの増加額は、39,729千円となっております。

#### (重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日至平成23年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日至平成24年9月30日)
1株当たり四半期純損失金額( )	5,304円59銭	15,452円27銭
(算定上の基礎)		
四半期純損失金額( )(千円)	302,923	795,854
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純損失金額( )(千円)	302,923	795,854
普通株式の期中平均株式数(株)	57,106	51,504
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額 (注1、2)	-	-
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(千円)	-	-
普通株式増加数(株)	-	-
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	-	-

- (注) 1. 前第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。
2. 当第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有する潜在株式が存在せず、また、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(重要な後発事象)

当第3四半期連結累計期間(自平成24年1月1日至平成24年9月30日)

(自己株式の取得枠の拡大及び取得期間の延長)

当社は、平成24年10月26日開催の取締役会において、平成24年6月15日開催の取締役会において決議された自己株式の取得に関し、自己株式の取得枠の拡大及び取得期間の延長を決議いたしました。

1. 自己株式の取得を行う理由

株主価値の向上を図るとともに、機動的な資本政策の遂行を可能とするために行うものであります。

2. 取得枠拡大及び取得期間延長の内容

- |                |                                           |
|----------------|-------------------------------------------|
| (1) 取得対象株式の種類  | 当社普通株式                                    |
| (2) 取得しうる株式の総数 | 2,000株(1,000株増加)<br>(発行済株式総数に対する割合 2.94%) |
| (3) 株式の取得価格の総額 | 1億8,000万円(9,000万円増加)                      |
| (4) 取得期間       | 平成24年6月18日～平成25年6月17日                     |

2 【その他】

該当事項はありません。



## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年11月14日

株式会社アエリア  
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任  
社員  
業務執行社員  
公認会計士 原 科 博 文 印

指定有限責任  
社員  
業務執行社員  
公認会計士 水 野 友 裕 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社アエリアの平成24年1月1日から平成24年12月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成24年7月1日から平成24年9月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成24年1月1日から平成24年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社アエリア及び連結子会社の平成24年9月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。  
以 上